

令和5年度 市政アンケート調査 第1回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民647人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 :令和5年4月5日から令和6年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内:郵送・メール、回答:郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第1回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和5年5月25日から6月8日まで
- (2) 調査対象者数
- 645人
- (3) 回答者数
- 574人
- (4) 有効回答率
- 89.0%
- (5) 調査テーマ
- ①「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について
 - ②「環境保全の意識」について
 - ③「ユマニチュード®」について
 - ④「救急車の適正利用」について
 - ⑤「選挙」について

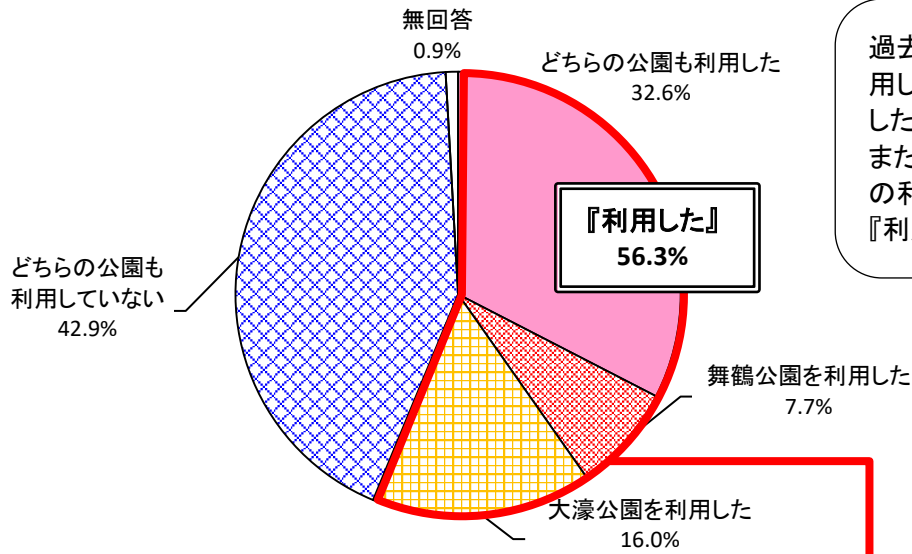
3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したものの例：『満足』=「満足」+「どちらかといえば満足」

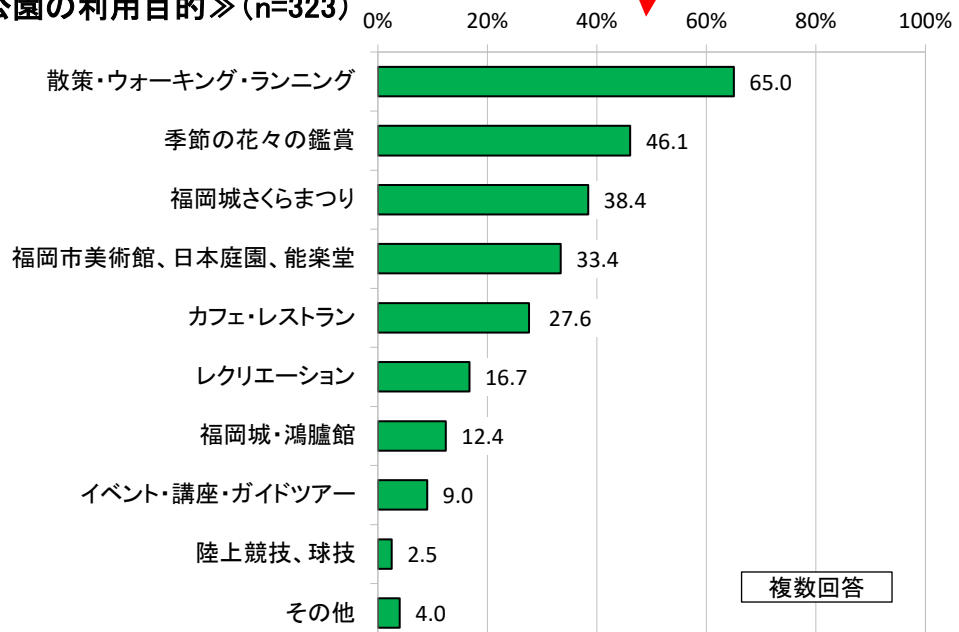
①「舞鶴公園・大濠公園の利用のしかた」について(N=574)

《過去1年間で舞鶴公園・大濠公園を利用したか》

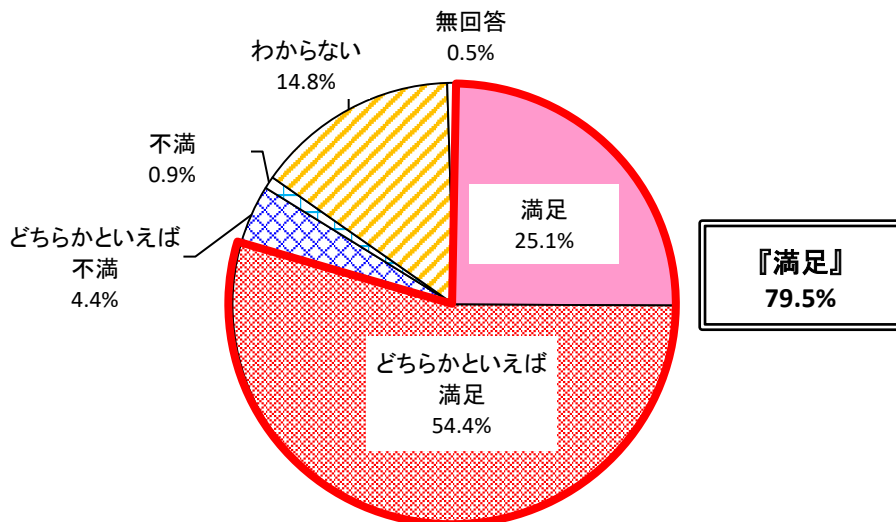


過去1年間で「どちらの公園も利用した」と回答した方は32.6%でした。
また、舞鶴公園、大濠公園のみの利用も含めると56.3%の方が『利用した』と回答しています。

《舞鶴公園・大濠公園の利用目的》(n=323)



《舞鶴公園・大濠公園についての総合的な満足度》



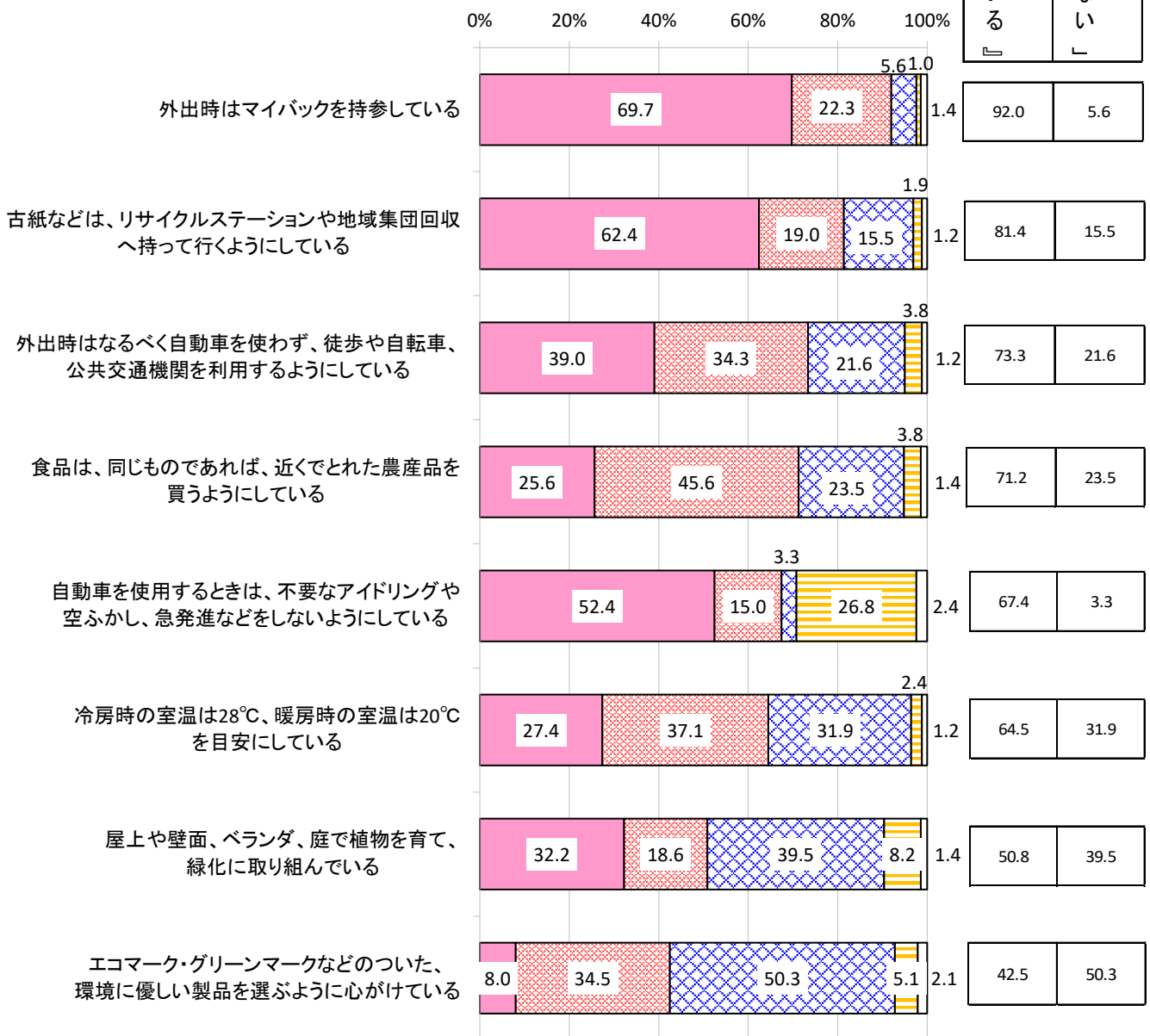
②「環境保全の意識」について(N=574)

《環境に配慮する行動を実行しているか》

いつも実行している
 たまに実行している
 実行していない
 該当しない
 無回答

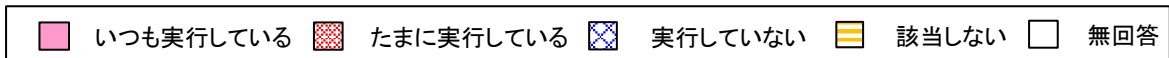
『実行している』

『実行していない』

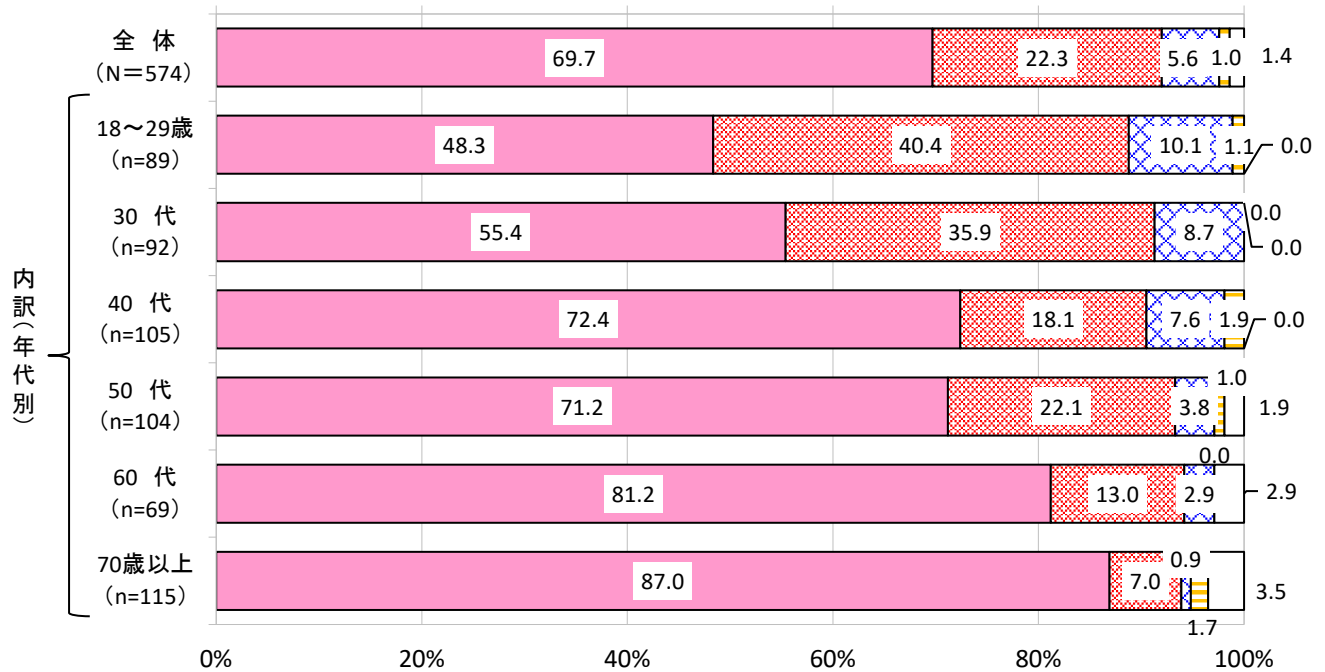


「外出時はマイバッグを持参している」を『実行している』と回答した方が92.0%と最も多く、次いで「古紙などは、リサイクルステーションや地域集団回収へ持って行くようにしている」を『実行している』と回答した方が81.4%という結果になりました。

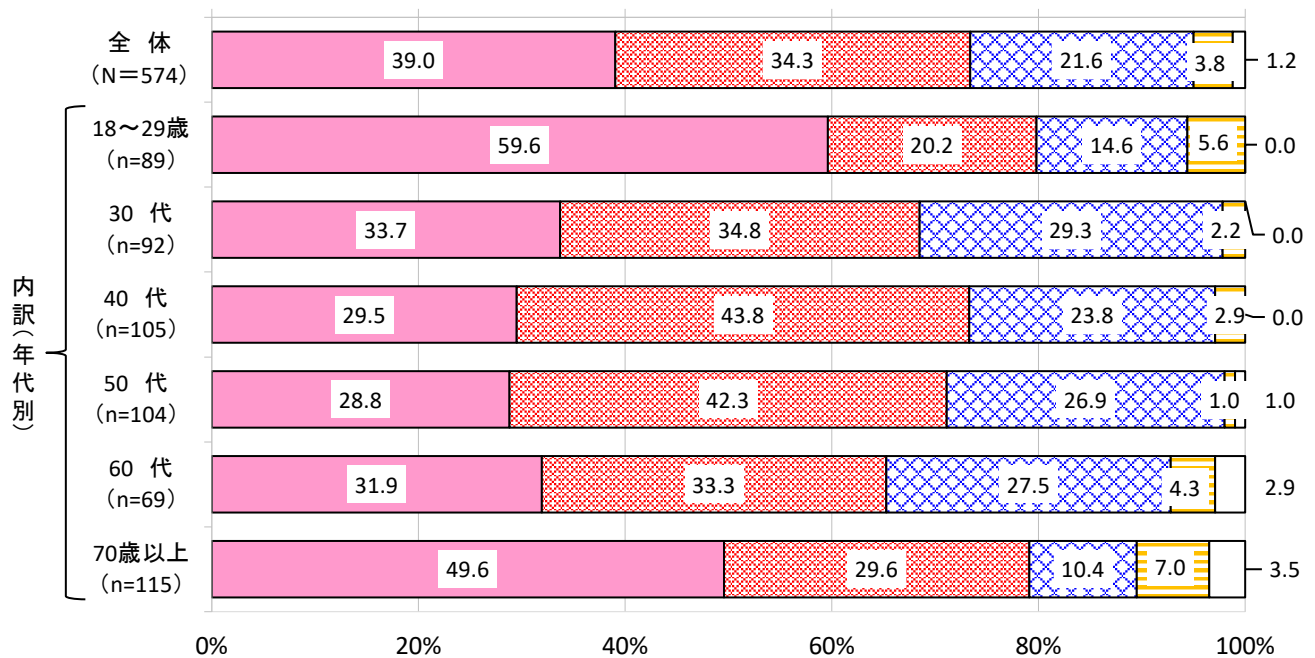
《環境に配慮する行動を実行しているか》（項目別：抜粋）



■外出時はマイバックを持参している

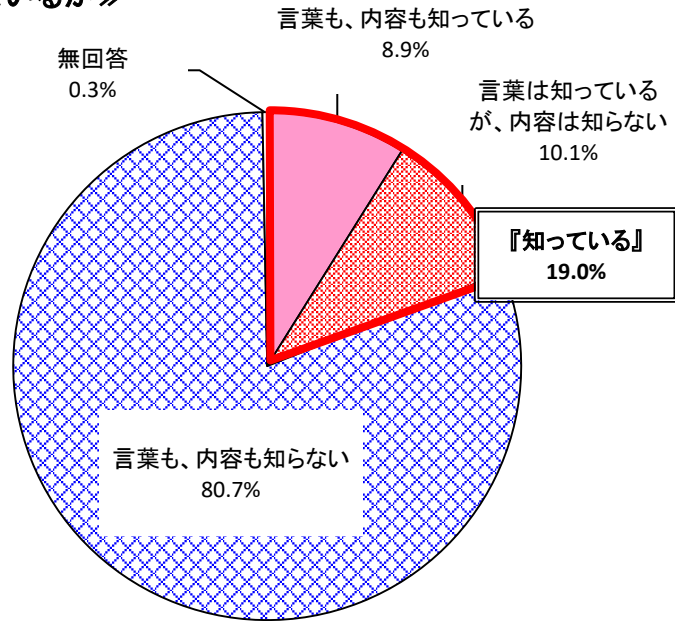


■外出時はなるべく自動車を使わず、徒歩や自転車、公共交通機関を利用するようにしている



③「ユマニチュード®」について(N=574)

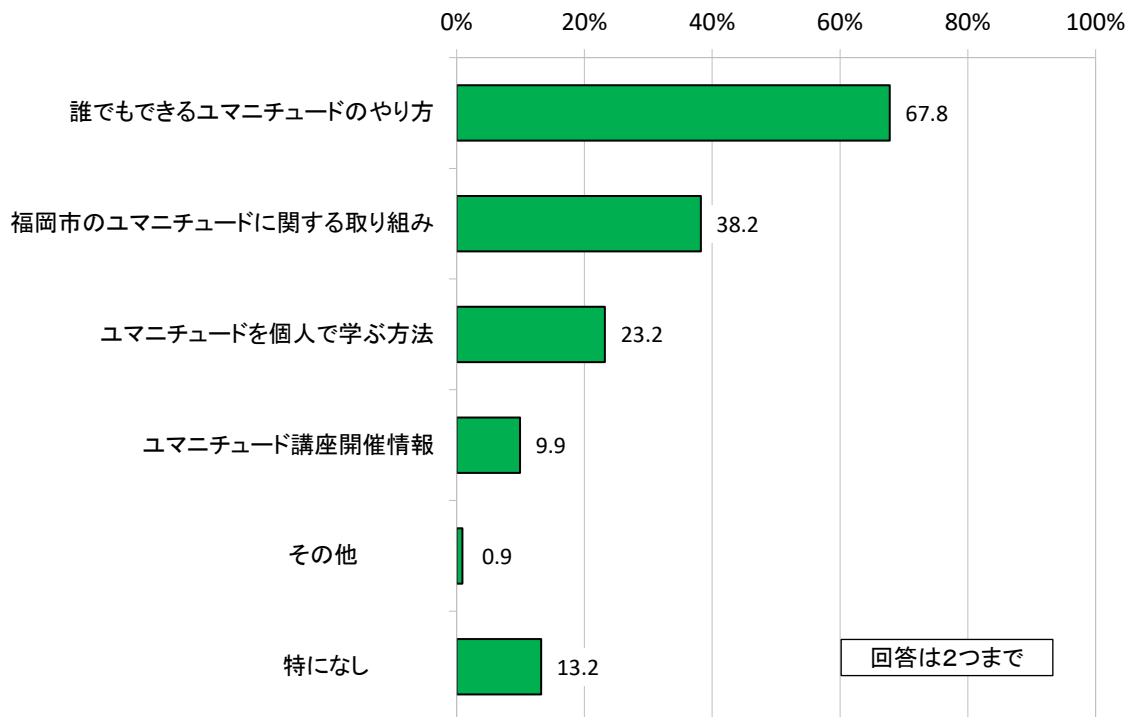
《「ユマニチュード」を知っているか》



※ユマニチュードについて

ユマニチュードは、認知症の方に届けたいサポートをうまく受け取ってもらうための具体的な技術と、「なぜそれを行うのか」という考え方(哲学)からできています。
 ユマニチュードでは、「あなたのことを大切に思っています」ということを相手が理解できる形で伝えるため、「見る」「話す」「触れる」「立つ」という4つの基本の柱を定めています。

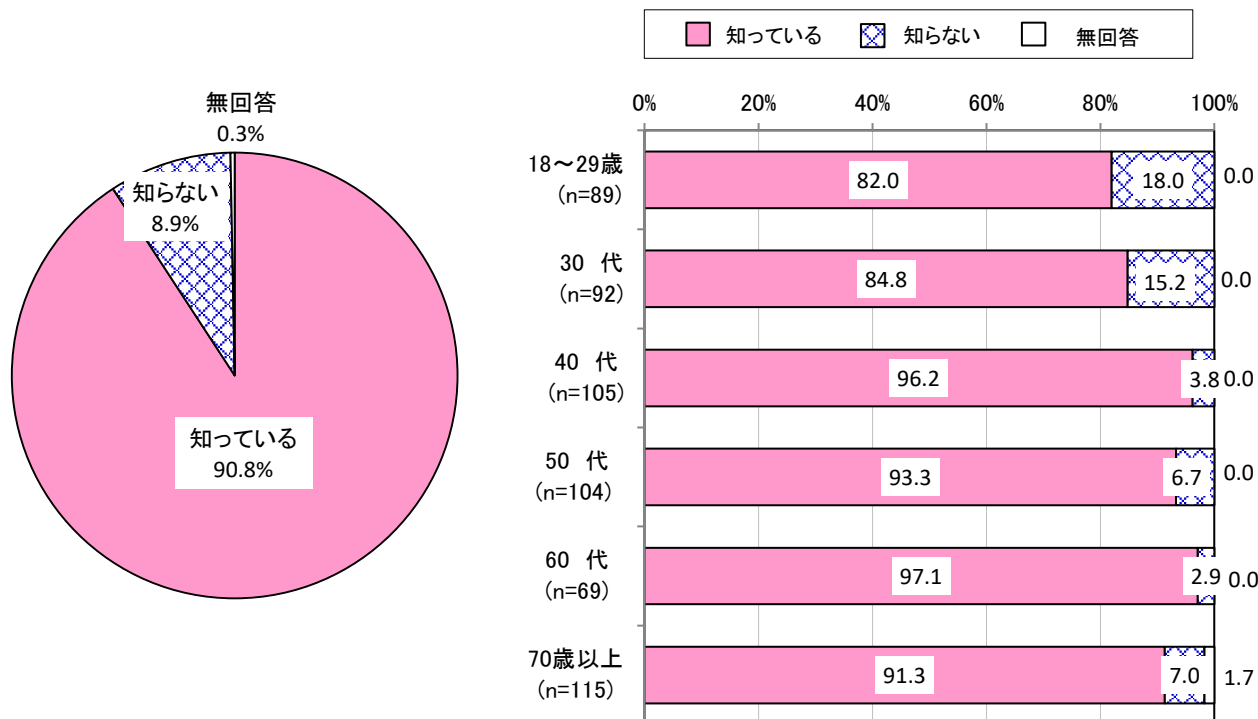
《ユマニチュードについてどのような情報がほしいか》



「誰でもできるユマニチュードのやり方」と回答した方が67.8%と最も多く、次いで「福岡市のユマニチュードに関する取り組み」が38.2%という結果になりました。

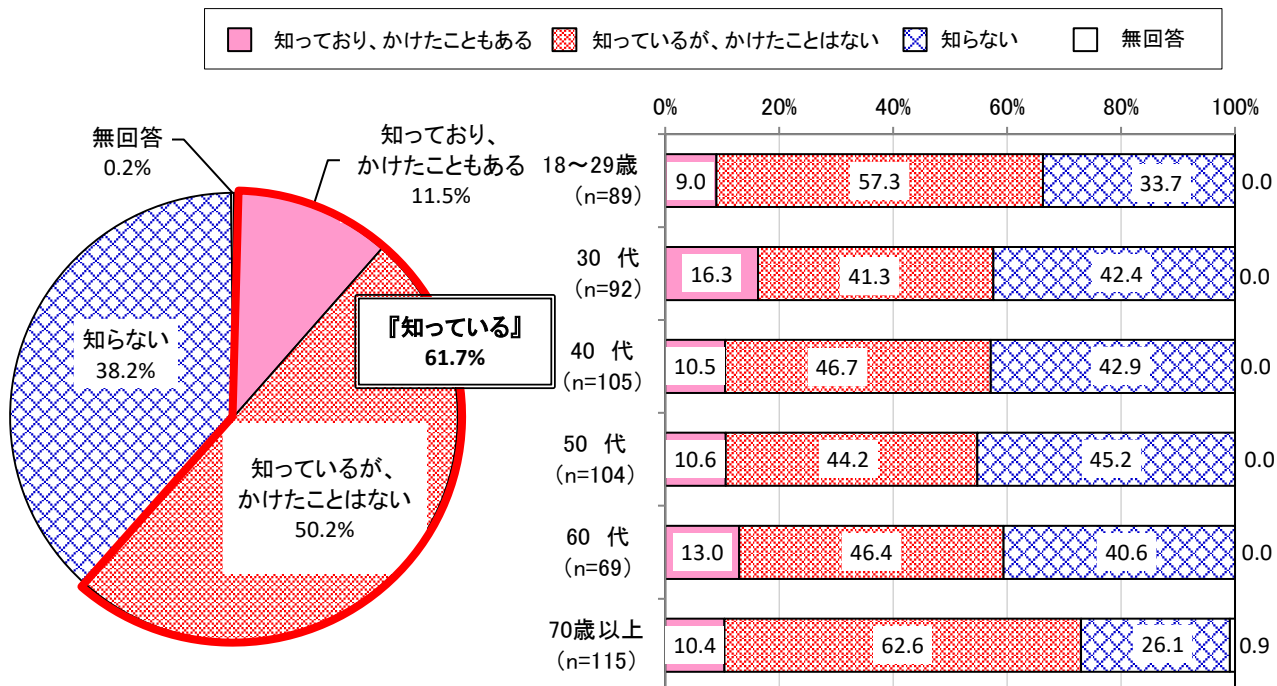
④「救急車の適正利用」について(N=574)

《不適切な要請により救急車の要請が増加していることを知っているか》



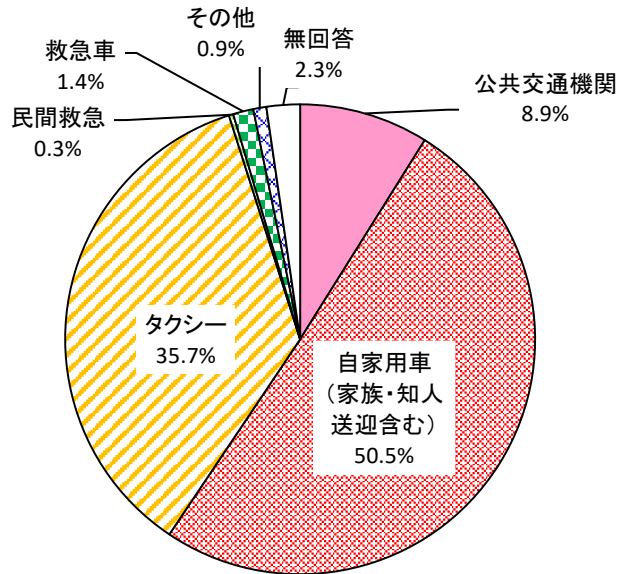
「知っている」と回答した方は全体の90.8%となりました。年代別にみると、「知っている」と回答した方の割合は、60代で97.1と最も高く、次いで40代で96.2という結果になりました。

《#7119(救急電話相談・医療機関案内)を知っているか、かけたことはあるか》



「知っている、かけたこともある」と回答した方が全体の11.5%となりました。年代別にみると、「知っている、かけたこともある」と回答した方の割合は30代(16.3%)が、他の年代より高くなっています。

◀「#7119」に相談した結果、「病院を受診した方が良いが、救急車で病院に行く必要はありません」というアドバイスを受けた後、病院を受診しようとする場合の交通手段 ▶



※民間救急(患者等搬送事業)

福祉タクシーや介護タクシーと異なり、福岡市消防局長が認定した事業者が、緊急性を有しない傷病者や寝たきりの高齢者などを対象に、ベッドなどを備えた専用車を用いて有料で医療機関または社会福祉施設などに搬送することです。

※#7119(救急電話相談・医療機関案内)

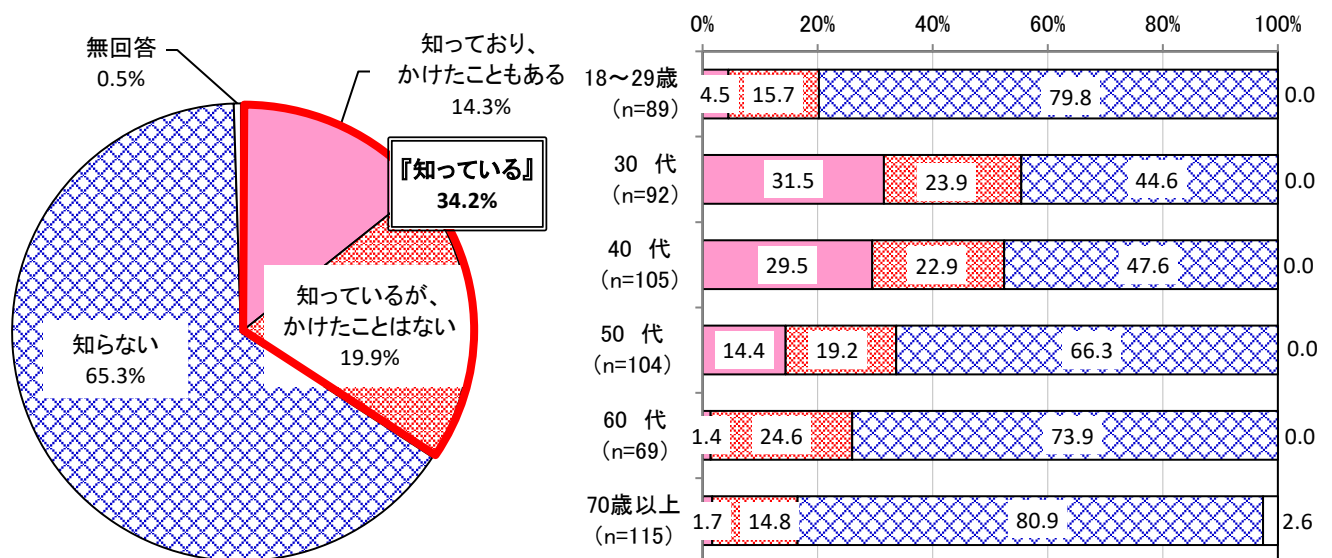
急な病気やケガのときにダイヤルすると、担当の看護師により救急車の利用や、最寄りの医療機関についてアドバイスが受けられます(福岡市以外の自治体でも実施)。

※#8000(小児救急医療電話相談)

子どもが急な病気になり、保護者の方が休日・夜間にどのように対処したら良いのか、病院を受診した方が良いのかなど判断に迷ったときにダイヤルすると、小児科医師・看護師に電話で相談できます。

◀ #8000(小児救急医療電話相談)を知っているか、かけたことはあるか ▶

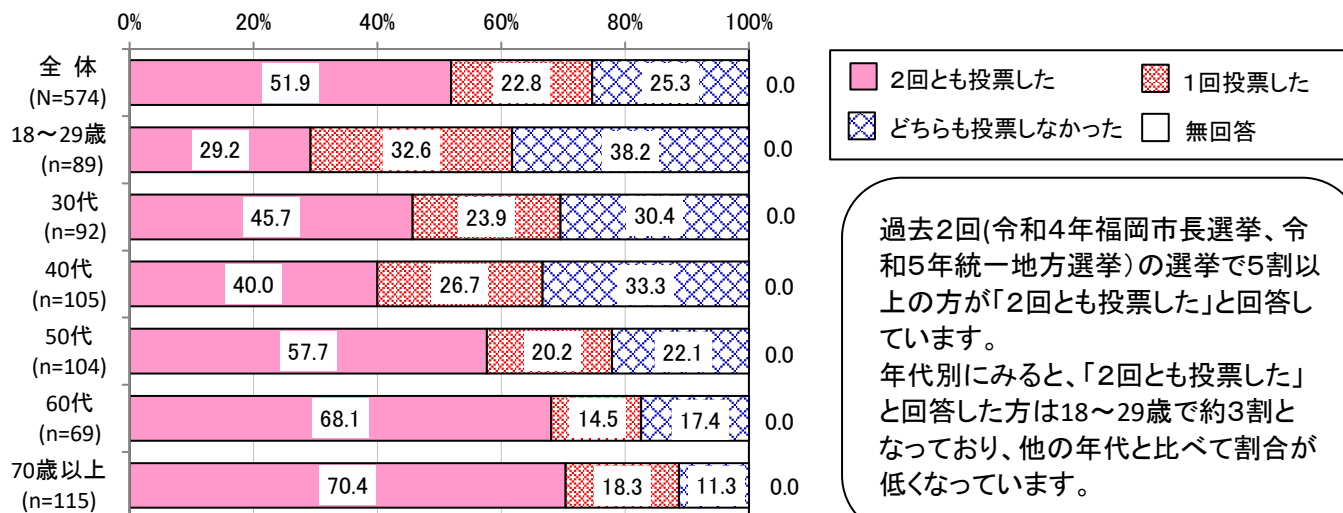
■ 知っており、かけたこともある
 ■ 知っているが、かけたことはない
 ■ 知らない
 無回答



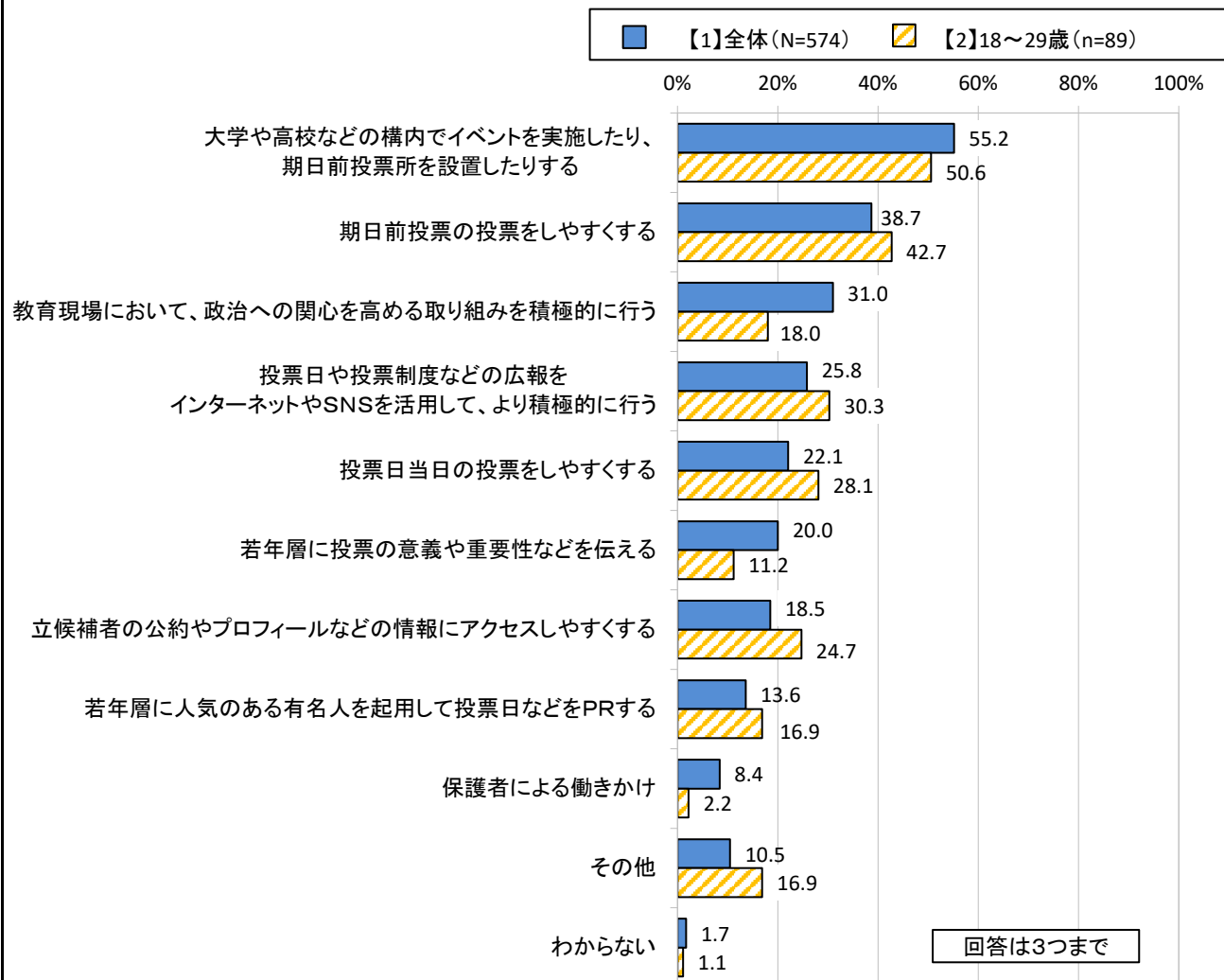
「知っており、かけたこともある」と回答した方が全体の14.3%となりました。年代別にみると、「知っており、かけたこともある」と回答した方の割合は30代(31.5%)が、他の年代より高くなっています。

⑤「選挙」について(N=574)

《過去2回の選挙での投票状況》



《若年層の投票率を向上させるためにはどのようなことが必要か》



【1】「全体」、【2】「18～29歳」のいずれにおいても「大学や高校などの構内でイベントを実施したり、期日前投票所を設置したりする」と回答した方が最も多くなりました。項目別にみると、「立候補者の公約やプロフィールなどの情報にアクセスしやすいとする」と回答した方は【2】24.7%が【1】18.5%よりも6.2ポイント高くなりました。